

鈴木 敬太さん
絵理香さん
鳳 叶くん

みなみ地区在住。敬太さんは南足柄市出身、絵理香さんは小田原市出身。取材日はちょうど、鳳叶くんの1歳の誕生日でした。



左：近所の公園へお散歩。ママ・パパやお子さんも気分転換に。



上：エステティシャンだったスキルを生かして、将来、ママも癒されるエステサロンを自宅で開催する予定。

将来、子どもを 育てる場所として 開成町を選択

鈴木家の場合

開成町の印象
結婚後、住まいを探していた鈴木さん夫婦。将来、子育てする場所として開成町を選びました。「色々探したけれど、ピンと来る場所がなくて…そんな時に開成町を見つけました」と話すのは絵理香さん。町の第一印象を聴く

と、「一言で表すと、『新しい街』。あかちゃん連れの家族も多くて、子育て世代に選ばれている町なんだと感じました」と教えてくれました。
夫の敬太さんの職場にも近く、夫婦ともに町を気に入りました。とん拍子で移住が決まりました。

子育てに優しいまち

令和2年、鳳叶くんが生まれると、子育てのしやすさを実感したという絵理香さん。「町内に顔見知りがいなかったのですが、駅前子育て支援センターあじさいっこに行き、お友だちができました。職員の方にも子育ての相談ができるので、不安を解消できました」と話します。他にも驚いたことがもう一つ。「公園の多さです。お友だちの親子と会うときは、公園めぐりをして楽しんでいます」
敬太さんにも聴くと、「小田急線開成駅が急行停車駅になったことも親としては嬉しいですね。子どもが大きくなった時、通学するのに便利ですから」と教えてくれました。

また、街中で嬉しい出来事があったという絵理香さん。「ごみ出しの時や道を歩いている時、よく地域の方が話しかけてくれます。地域の温かい優しさの中で、子育てができています」二人の仕事や表情からは、子育ての楽しさがあふれていました。

POINT



遊びも相談も子育て支援センター

駅前子育て支援センターあじさいっこでは、子どもと一緒に遊んだり、子育ての相談もできます。



公園がたくさん！

開成町の面積は6.55km²と東日本で一番小さい町ですが、大小合わせて39か所も公園があります。お気に入りの公園を見つけてみてください。



通勤・通学、お出かけも便利に

平成31年、小田急線開成駅が急行停車駅になり、各方面へのアクセスが良好に。東名高速道路の大井松田JCTにも車で10分と好立地です。

子育ての相談窓口を
役場や支援センターなど
複数ご用意しています！
いつでもご相談ください♡



インフルワクチン
助成の詳細▼



皆さんが笑顔で子育てできるために

子育て健康課保健師 茂川 安美

子育ての悩みの種は、尽きないですよね。町では、「皆さんが笑顔で子育てできる町」をめざして、ママ・パパ教室をはじめ、あかちゃん訪問や各種健診、病児保育の設置など、妊娠から出産、子育てまで様々なサポートをしています。

また、今年度は、町独自のサポートとして、12歳未満の子どもを対象にしたインフルエンザワクチンの全額助成をしています。

他にも、町の子育て情報をぎゅっとまとめたウェブサイトを今年度公開予定です。現役ママが町民ライターとして、子育て事業を紹介するので、保護者目線のよりリアルな情報をお届けします！楽しみにしてください♪

問 子育て健康課 ☎84-0327